

福崎町の蝶

石井為久

福崎町は姫路市の北方約15kmに位置する総面積46.23 km²、人口約18,000人の小さな町である。

町のほぼ中央を北から南へ市川が流れ、流域一帯が水田地帯となっているが、最近では農業の他に工業、商業などにも力をそそぎ、調和のとれた発展を目ざしている。しかしながら自然と調和した発展はないようで、町の発展に伴って自然も次第に失われている。

20数年前の好採集地の1つであった福崎中学校付近の雑木林は、今はもう見る影もない。その中にあって西の七種山、東の日光寺山は自然が残され、今もなお多くの蝶を見ることができる。

筆者はこれらの山を中心に、福崎町全域の調査を行い1956年から1979年までの23年間に7科69種の蝶を確認した。

今後発見される可能性のあると思われる種についても、ここ2～3年特に気を付けて調べて来たが、期待に反して発見ができなかった。しかし、このところ分布も北へ広げているナガサキアゲハについては、本町でも採集される可能性は大きい。以下筆者が確認した種は次の通りである。尚エゾスジグロチョウの同定にあたっては広畑氏の協力をいただいた。

アゲハチョウ科 (9種)

アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、オナガアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ

シロチョウ科 (8種)

モンキチョウ、キチョウ、ツマグロキチョウ、スジグロシロチョウ、エゾスジグロシロチョウ、スジボソヤマキチョウ、モンシロチョウ、ツマキチョウ

シミチョウ科 (16種)

ムラサキシジミ、ウラゴマダラシジミ、ウラキンシジミ、アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、ミドリシジミ、オオミドリシジミ、トラフシジミ、コツバメ、ベニシジミ、クロシジミ、ルリシジミ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ウラギンシジミ

テングチョウ科 (1種)

テングチョウ

タテハチョウ科 (18種)

ウラギンスジヒョウモン、メスグロヒョウモン、クモガタヒョウモン、ミドリヒョウモン、ツマグロヒョウモン、アサマイチモンジ、イチモンジチョウ、コムシジ、ホシミスジ、サカハチチョウ、キタテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、スミナガシ、コムラサキ、ゴマダラチョウ

ジャノメチョウ科 (8種)

ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、ヒカゲチョウ、クロヒカゲ、サトキマダラヒカゲ、ヒメジャノメ、コジャノメ、クロコノマチョウ、

セセリチョウ科 (9種)

ミヤマセセリ、グイミョウセセリ、コチャバネセセリ、ヒメキマダラセセリ、キマダラセセリ、ホソバセセリ、オオチャバネセセリ、チャバネセセリ、イチモンジセセリ、

クロコノマチョウ、スジボソヤマキチョウは1956年の記録で、最近では発見されていない。

(S. 15: TAMEHISA ISHII 神崎郡福崎町)

鷹の巣高原でオオヒカゲを採集する

花岡 正

宍粟郡千種町鷹の巣高原にて計4頭のオオヒカゲを採集した。当地はあちらこちらに湿地があり、ハッチョウトンボの群生地もある。時期的なものか、ウスイロヒョウモンモドキ、ヒョウモンモドキは採集できなかった。

〈採集記録〉

千種町鷹の巣高原	2♂	6-VII-1980	花岡 正
〃	1♂	6-VII-1980	唐土洋一
〃	1♂	12-VII-1980	花岡 正

(S. 19: TADASHI HANAOKA 姫路市)